

静岡市立小学校への冷凍庫の設置について

～児童の熱中症対策～

1 要 旨

近年、猛暑の影響から6月から10月にかけて、気温がかなり上昇することから、学校と家庭は様々な場面で、児童生徒の熱中症対策に取り組んでいます。

登校時は、各家庭で用意した帽子や冷却グッズなどを使用しています。在校時は、空調の適切な利用や学習する場所の暑さ指数に基づいた活動を行っています。

一方、下校時については、帽子などで日除けをするなどの対策に限られ、特に中学生と比べ小柄な小学生に対する、より効果的な対策が求められていました。

そこで、静岡市教育委員会として、小学生の下校時の熱中症リスクを回避することを目的に、静岡市立の小学校72校に、33Lサイズを118台、60Lサイズを240台、合計358台の冷凍庫を設置します。なお、令和7年7月に行った学校向け事前調査結果を踏まえ、既存の冷凍庫で対応できると回答した6校（賤機北小、大河内小、玉川小、井川小、大川小、清水穴原小）には設置しません。

冷凍庫を設置することにより、各家庭で購入・用意し、登校時に使用したネックリングなどの冷却グッズを下校時まで再冷却することができるようになります。

その結果、日中の一番暑い時間帯に下校する小学生は、再冷却された冷却グッズを利用できるようになり、これまで以上に熱中症対策が施され、安心して下校できるようになります。

2 運用について

冷凍庫の利用に当たっては、冷凍可能な冷却グッズに限定し、必要に応じて個別に袋に入れるなどの衛生面に対する配慮を行います。（クールタオルやペットボトルなどを冷凍庫で冷却することは想定していません。）

なお、ネックリングや保冷剤などの冷却グッズの利用は、各家庭の判断とします。

登校後の冷却グッズの回収・保管は、各学校の実情に応じて運用します。先行都市の事例を参考に、小学生による係活動での管理も検討します。

また、冷却グッズの種別や利用の有無などによって、差別やいじめにつながらないように、学校は小学生への指導を徹底します。

3 静岡市が設置する冷凍庫の台数及び規格

原則、60人未満に33Lサイズを1台、60人以上120人未満に60Lサイズを1台とする設置基準と、学校の統合や児童数の推移をもとに、全ての児童が冷却グッズを持参した場合でも対応できるよう台数を算出しました。

規格については、運用しやすい小型のサイズを選定しました。

<設置する冷凍庫>

サイズ	冷却グッズ収納上限数	設置台数	品番	画像
33L	60人分	118台	ハイアール：JF-U3A	別紙1
60L	120人分	240台	ハイアール：JF-U6A	別紙2

<設置台数の基準>

内容	サイズ	台数	備考
全生徒数			
全学年の合計が60人未満	33L	1台	—
1, 2年生			
2学年の合計が60人未満	33L	1台	教員が補助し児童が管理。保管数が多くなりすぎないよう2学年のみを想定。
2学年の合計が60人以上	33L又は60L	各学年人数に応じた台数	
3～6年生			
4学年の合計が60人未満	33L	1台	児童が主体的に管理。保管数が増えても管理することができる。
4学年の合計が60人以上120人未満	60L	1台	
4学年の合計が120人以上			
2学年の合計が60人未満	33L	1台	
2学年の合計が60人以上120人未満	60L	1台	
2学年の合計が120人以上	33L又は60L	各学年人数に応じた台数	
特別支援学級			
20人以上	33L	1台	—
19人以下	—	交流学級等で対応	

4 冷凍庫導入までのスケジュールについて

令和8年3月13日	購入業者との契約
令和8年3月18日	冷凍庫の設置について、各小学校へ通知
令和8年5月1日（予定）	冷凍庫の利用について、保護者へ周知
令和8年5月7日から 5月21日まで（予定）	・順次納品 ・各校で冷凍庫の運用開始
令和8年10月	小学生と教職員へ効果検証について、アンケートの実施

担当：教育局 児童生徒支援課(054-354-2518)

サイズ：33L 品番：ハイアール JF-U3A

(画像提供：ハイアールジャパンセールス株式会社)



サイズ

幅：440mm

奥行：480mm

高さ：510mm



サイズ：60L 品番：ハイアール JF-U6A

(画像提供：ハイアールジャパンセールス株式会社)



サイズ

幅：480mm

奥行：500mm

高さ：840mm

